

Warshall-Floyed法

Warshall-Floyed法とは

- ワーシャルフロイド法
- 全点对間最短経路(長)を求めるアルゴリズム
- 全点对最短経路: 任意の2点間の最短経路
- 計算量は $O(|V|^3)$
- 実装がすごい簡単

基本的な考え方

ある経由地点を固定してそこから任意の2点への最短経路を更新していく

$\text{dist}[i][j] :=$ (iからjへの最短経路長)

1. 初期値

$$\text{dist}[i][j] = \begin{cases} 0 & i = j \\ \infty & i \neq j \end{cases}$$

2. kを固定

3. 任意の点i,jについて,

kを経由した経路 $\text{dist}[i][k] + \text{dist}[k][j]$

が最短経路になるか確認し $\text{dist}[i][j]$ を更新

実装

- 以下頂点数 n とする.

```
// 初期化
for (int i = 0; i < n; i++) {
    for (int j = 0; j < n; j++) {
        if (i == j) dist[i][j] = 0;
        else dist[i][j] = INF;
    }
}
```

- 3重ループ書くだけ.超簡単.
- k,i,jの順に注意

```
// 辺の追加
// iからjへコストcの辺を張るときは
// dist[i][j] = c と書く.

// Warshall Floyed法
for (int k = 0; k < n; k++) {
    for (int i = 0; i < n; i++) {
        for (int j = 0; j < n; j++) {
            if (dist[i][k] == INF || dist[k][i] == INF) continue;
            dist[i][j] = min(dist[i][j], dist[i][k] + dist[k][j]);
        }
    }
}
```

実際の動き

ここに載せるには画像が多すぎる.

- 全パターン画像作ると膨大になるため, 一部省いています
 - imgフォルダに入れておきます
- グラフの●: i と j
- グラフの●: ik
- 表の■: 辺 $i \rightarrow k$
- 表の■: 辺 $k \rightarrow j$
- 表の■: 辺 $i \rightarrow j$

負閉路検出

Warshall-Floyed法を行った後,
 $dist[i][i] < 0$ となることがあれば, 負閉路を持つ.

応用

- 制約が間に合うならWarshall-Floyedが強い